

17

「MB&F」の
超絶機械式時計
撮影/栗村 昇

オーパス

「伝説の名機」仕掛け人の 新ラインが日本にお目見え

デザインとメカは、ほかと
一線を画すアバンギャルドさ

無限大を示す記号「∞」のようなケースデザインに、ボリュームのあるケース厚が印象的。連結した二つのムーブメントは4つのバレルを備え、7日間のパワーリザーブを実現。ムーブメント製作には独立時計師のピーター・スピークマリンが参加している。「オロロジカルマシーンNo.1」ローズゴールド(写真) ¥19,110,000・ホワイトゴールド ¥19,425,000 / マキシミリアン・ブッサー&フレンズ(アワーグラス 銀座店)



ハ リー・ウインストン時代にオーパスプロジェクトの「5」まで手がけ、時計業界に話題を振りまいたマキシミリアン・ブッサー。自らの時計ブランドを立ち上げて、ようやく完成したファーストモデルが「オロロジカルマシーンNo.1」だ。そのデザインは、まるで双眼鏡のような異形ケースが印象的。メカも、二つのムーブメントが精巧なギアトレインにより一つのリュウズで操作できる優れものだ。

日本で唯一取り扱うアワーグラスジャパンの桃井敦社長は、プロトタイプも見ずに入荷を決めたという。「この時計はデザイン、ムーブメント製作、磨きなど、製作にかかわるすべての工程で、手がけた人物の名前が公表されています。こんなブランドはほかではありません。だからよいものができると確信したのです。」そこから発せられるフェロモンは、けっして期待を裏切らない出来映えとなっている。

表も裏も見える トゥールビヨン

多層構造になったダイヤルの左側には時間計、右側には分計とパワーリザーブを表示。中央には、表からも裏からも見ることができるとゥールビヨンが鎮座する。また、上下を通る一対のサファイアブリッジは、文字盤の視認性をいっそう向上させている

